

## 植物発生を制御する代謝の役割

### 平井 優美 博士

理研環境資源科学研究センター  
技術基盤部門長  
名古屋大学大学院生命農学研究科・客員教授



日時：2026年 5月18日（月）

16:30 – 18:00

場所：理農館SA329

言語：日本語

植物は、100万種類以上とも見積もられる多種多様な低分子化合物を生合成している。これら植物代謝産物を整理して理解するために、一次代謝産物、特化（二次）代謝産物、ホルモンを始めとする生理活性物質、といった分類がなされてきた。しかしながら、それらの分類の一般的な定義に当てはまらない例が知られるようになり、この分類の境界は曖昧になってきている。本セミナーでは2年前に引き続き、植物の発生を制御するアミノ酸代謝についての私達の研究を紹介するとともに、開発中のメタボロミクス技術についても触れる予定である。



**GTR**  
Nagoya University



Nagoya University  
Graduate School of Bioagricultural Sciences  
School of Agricultural Sciences

問合せ先：榊原均（sakaki@agr.nagoya-u.ac.jp）